

平成18年5月19日

各 位

会社名 ゼリア新薬工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 伊部 幸顕
(コード番号 4559 東証第一部)
問合せ先 取締役広報部長 森山 茂
(TEL 03-3661-1039)

「第6次中期経営計画」策定のお知らせ

当社は、このたび平成18年度～平成22年度(平成18年4月～平成23年3月)の5年間を対象期間とする当社グループの「第6次中期経営計画」を策定しましたので、その概要をお知らせいたします。

平成17年度を最終年度とする第5次中期経営計画は、医療費抑制策の浸透や業界内の市場競争の激化と消費低迷の影響を受け計画を下回る結果となりました。

この結果を踏まえ本計画では、従来より「車の両輪」として捉えてきた医療用医薬品事業とコンシューマーヘルスケア事業の基本的な位置づけは変えず、「より強固な車の両輪づくり」を目指しコンシューマーヘルスケア事業への更なる経営資源の投入を行いグループ全体の経営基盤強化を図り、今後の事業拡大に繋げていく計画としております。

[第6次中期経営計画の概要]

1. 経営目標

生産性の向上に取り組み「早期に」売上高1,000億円(連結)を達成する。

対売上高純利益率5%以上を目指す。

2. 重点課題

(1) 医療用医薬品部門

医療用医薬品部門においては、環境変化に対応すべく投入した情報システムのより効率的な運用を推進いたします。さらに、市場との密着度を高めるためITを活用したプロモーションシステムへの投資を図ることにより、営業力を最大限発揮できる仕組みを構築し生産性の向上を図るとともに消化器領域を中心に確固たる地位を築き、最終年度には連結売上高550億円を目指します。

(2) コンシューマーヘルスケア部門

コンシューマーヘルスケア部門においては、第5次中期経営計画期間中に業界トップの地位を固めた「コンドロイチン群」の更なる拡大に注力するとともに新たなナショナルブランド品を育成し、業界内での地位向上を図ってまいります。また、平成17年12月に着工した筑波工場第2期工事を平成18年度中に竣工させ、新たな製品の開発促進と新製品の投入により市場構築を図り、最終年度には連結売上高350億円を目指します。

(3) 研究開発部門

研究開発部門においては、国際社会に貢献する新薬創出を目指して、医療用医薬品の新薬パイプラインの一層の充実と強化に努めてまいります。当中期経営計画中に、新薬2品目、適応症追加1品目、剤形追加3品目以上の上市を見込んでいます。

また、超高齢化社会が進展する中でセルフメディケーションに対応するコンシューマーヘルスケア製品の開発に積極的に取り組んでまいります。

(4) 生産物流・管理間接部門

営業部門を支援する生産物流部門と管理間接部門の効率性の向上を狙い、統合基幹システムの構築を計画しております。これらを活用しながらビジネス・リエンジニアリングを推進してまいります。また、会社法、金融商品取引法等の施工に対応した内部統制体制の整備を進め、企業グループ経営の信頼性を更に高める努力を続けて行く計画であります。

(5) その他

医薬品業界においても再編淘汰の動きが活発化する中、企業提携など、医薬品事業のみならずその周辺事業も含めた分野での積極的な展開を図り、100億円規模の売上を計画しております。

以 上